

「岩国市公共施設個別施設計画」策定に向けた住民意見交換会開催報告

◆開催日程

地区	日程1日目	日程2日目	日程3日目	日程4日目
	全体説明会	地域別意見交換会 (1回目)	地域別意見交換会 (2回目)	全体発表会
岩国1	7月9日(土)AM 市内5か所 Web中継 ・いわくに消防防災センター ・周東中央公民館 ・玖珂中央コミュニティセンター ・ハーモニーみわ ・錦ふるさとセンター	7月16日(土)AM 市役所	7月30日(土)AM 市役所	10月1日(土)PM 市内5か所 Web中継 ・市役所 ・由宇文化会館 ・玖珂中央コミュニティセンター ・本郷ふるさと交流館 ・美川コミュニティセンター
岩国2		7月16日(土)PM 市役所	7月30日(土)PM 市役所	
由宇		7月17日(日)AM 由宇文化会館	8月7日(日)AM 由宇文化会館	
周東		7月31日(日)AM 玖珂中央コミュニティセンター	8月28日(日)AM 周東中央公民館	
玖珂		7月31日(日)PM 玖珂中央コミュニティセンター	8月28日(日)AM 周東中央公民館	
美和 ・ 本郷		8月6日(土)PM 本郷ふるさと交流館	8月27日(土)PM ハーモニーみわ	
錦 ・ 美川		8月6日(土)AM 美川コミュニティセンター	8月27日(土)AM 錦ふるさとセンター	

＜地域別意見交換会テーマ＞

1回目：集会系施設及び公民館

2回目：スポーツ施設及びキャンプ場、その他レクリエーション・観光施設

◆地域別参加者数

地区	参加予定者数	参加者数			
		全体説明会	意見交換会 1回目	意見交換会 2回目	全体発表会
岩国1	14	12	10	11	9
岩国2	9	7	7	6	5
由宇	8	6	5	5	3
周東	15	12	14	7	9
玖珂	17	14	12	10	12
錦	10	10	7	8	7
美川	3	3	2	3	2
美和	11	6	6	5	6
本郷	5	5	5	4	3
合計	92	75	68	59	56

◆住民意見交換会

まちづくりや市民サービスにおける公共施設の役割を再確認し、必要な施設機能の維持向上を図りながら、公共施設の「質」と「量」の最適化に向けた取組を進めていくため、このたび「岩国市公共施設個別施設計画」を策定しています。

策定に当たっては、個々の施設の点検・評価を行うとともに、広く市民の皆様からの御意見等をいただくことが必要と考え、市民の皆様と直接対話する住民意見交換会を市内8か所で延べ16回にわたって開催し、多くの御意見をいただきました。

1. 全体説明会について



意見交換会の実施に先立って、計画の概要、市の公共施設の現状と課題及び市の財政状況について、次のとおり、説明を行いました。

- 本市では、昭和40年代から昭和50年代までにかけての人口増加にあわせて、多くの施設を建設している。今後、これらの施設を維持していくためには、今後40年間で試算した場合、1年当たりの平均で約75億6,050万円が必要となる。
- 一方で、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、税収の減少や、社会保障関係費等の増大も見込まれ、多額の財源が必要となり、今後、市の財政状況は非常に厳しくなる。
- 本市の人口は、約20年後の2040年には10万人前後、約40年後の2060年には68,000人にまで減少するとされる推計もあり、今後も現在の規模で施設を維持し続けることは、かなり難しい。
- このため、持続可能な財政運営を行うには、「身の丈に合った財政運営、つまり収入に見合った支出」を行うという考え方が基本となる。
- 「岩国市公共施設個別施設計画」は、本当に必要な公共施設を上手に使っていく、いわゆる、公共施設の「質」と「量」の最適化に向けた取組を進めるため、個別施設の具体的な方向性を示すものである。
- 計画の策定に当たっては、「この施設はこうする」と押し付けるのではなく、各地域の住民をはじめ、実際に施設を使っている人、施設に対して意見がある人などから、いろいろな意見を聴くことが重要である。
- この度の住民意見交換会は、集会所や公民館、スポーツ施設、レクリエーション施設など、市民に身近な施設をテーマに、今後、公共施設をどのようにしていけばよいか、について、参加者同士で意見交換を行っていただくものである。

次に、行政経営アドバイザーである川嶋幸夫氏による意見交換会の開催に当たって、次のとおり講演がありました。

- 公共施設が老朽化し、多大な更新費用が必要とされる中、施設総量の適正化と効果的、かつ、効率的な管理運営をめざすことが不可欠。
- 岩国市の集会・会議ができる施設は、対象者別、目的別、市の担当部署ごとに施設を整備した結果、類似機能の施設が複数設置されている地域もある。
- これからは、これらの十分使い切れていない施設の機能について、複合化・多機能化を行い、地域課題の解決を図る自主的な活動拠点として活用し、地域の活動拠点として再構築していく必要がある。
- 行政は、施設の安全性、必要性、有効性、効率性などを点検・評価し、市民にわかりやすく説明することで情報共有を図り、施設を利用する市民（ユーザー）と、施設は利用しないが、費用を負担する市民（オーナー）が参加する機会を設定し、市民の皆さまが意見を述べる様々な機会を設けることが求められる。
- 市民の皆さまは、公共施設のことを「自分ごと」として考え、様々な意見交換の場に積極的に参加し、意見・提案することで公共施設の在り方を考えていくことが必要である。

2. 地域別意見交換会について

地域別意見交換会は、各地域で2回実施し、1回目は「集会系施設及び公民館について」、2回目は「スポーツ施設及びキャンプ場その他レクリエーション・観光施設について」意見交換を行いました。

岩国1



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・市内全域に施設が多すぎると感じるが、集落がある限りは、防災等の避難所として、施設を残すことも必要である。
- ・自治会も人が少なくなっていることから、自治会による指定管理以外も、NPOや任意団体による管理も選択肢と

するべき。

- ・地域以外の人を使用する場合に、より多くの利用料をとるなど、受益者負担の検討も必要。

（スポーツ施設）

- ・施設の複合化や学校開放などを検討し、効率的に施設を充実させていくよう取り組むべき。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

- ・行政が施設を持つことで、制約が伴うならば、施設を譲渡することで施設の有効利用を図る取組も必要。
- ・施設の譲渡ではなく、ソフト面のみ民間と「協力」する活用方法も検討してはどうか。

岩国 2



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・若いお母さんや子供が興味を持って使ってくれる機能が必要。
- ・施設の譲渡に当たっては、修繕、改修、解体など財政面の補助や、行政で改修を行うなど、受け入れやすい条件が必要。

・施設の経過年数や利用率、人口減少といった要素から、必要な施設・不要な施設を明確な基準で整理し、統廃合の優先順位を可視化することが必要。

（スポーツ施設）

・指定管理者の運営が不透明。市も指定管理者に任せきりにするのではなく、市としてやりたいこと、ビジョンを明確にすべきではないか。

・地域の体育館は、災害に応じた避難所としての在り方も含めて施設の在り方を検討すべき。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

・今ある施設に、民間活力を導入することで更なる有効活用を図る。それができないならば、施設廃止もやむを得ないのではないか。

由宇



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・集会系施設に、高齢者が介護予防などを通じて、楽しく交流ができる機能を備え、利用を促してはどうか。
- ・施設の譲渡に当たっては、修繕や機能向上も含めて、現在の不具合を行政で直すべき。

・「地域づくり」は、小学校区に限られることなく、コミュニティの単位などで判断すべき。

（スポーツ施設）

・地域の体育館は、介護予防等地域の活動を行う場としても活用できるのではないか。

・災害で避難所になるような施設には、高齢者向けにトイレの洋式化が必要。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

・大規模な施設は、施設の維持管理費がかかるので、民間への譲渡は難しいのではないか。ソフト面のみ民間に任せて、ハード面は行政で持つべき。

・地域おこし協力隊や地元の小学生と協力するなど、地域の協力で、施設を維持していくこともできるかもしれない。

周東



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・施設に行くきっかけづくりに、民間活力を導入してはどうか。
- ・地域に譲渡というが、行政のものは行政が見るべき。
- ・施設の存続・廃止には地域の実情がわかる人の意見をよく聴くことが大切。

・イエローゾーンに早期避難場所があるなど、施設の最適化も必要だが、早急に避難所施設としての改善も行うべき。

（スポーツ施設）

・イベントの実施や機材・機能の充実など、いろいろな人が気軽に立ち寄り、スポーツに触れることができる工夫を取り入れる。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

・山や川といった自然を利活用し、新たな価値を整備することで、地域の魅力向上を図る取組が必要。

・周東野外活動センターは、キャンプ場も利用停止しており、今のままでは魅力がない。オートキャンプ場などにすれば客が来るのではないか。

玖珂



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・学生など多くの方が気軽に使えるようなフリースペースを設けることで、施設の利用を促してはどうか。
- ・地元で譲受けの意向がなくても、当面は市で維持継続してもらいたい。
- ・施設の利用には、施設を行き来してくれる公共バスも必要。

・施設の廃止に当たっては、地域に身近な小学校に集会所機能を移転するなどの方法も模索していくべき。

（スポーツ施設）

・利用が多い高齢者や子供には使用料を減額等して、ジムなど高機能施設の使用料については料金を取るなど、受益者負担のバランスを考える。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

・キャンプ場などの施設について、市内外への情報発信が不足しているのではないか。Webや市報でPRしてはどうか。

・指定管理者が公共施設から得た収益は、その施設に還元するような仕組みが必要。

錦・美川



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・複数の機能を1つの施設に集約すると、サービスの低下にならないか。近隣施設への移転も検討してはどうか。
- ・他の地域の方々にも多様な活用の場として提供することも必要。
- ・施設を利用するためには、バスなど交通手段の充実も必要。

・集会所は地域にとって必要な機能だから、市で管理を続けていく選択肢も必要。

・地域全体が警戒区域であり、集会所施設には避難所機能も必要である。

（スポーツ施設）

・小中学校の体育館を継続利用して、災害避難用として残しておいてほしい。

・少子高齢化で利用が少ない。もっぱら生涯スポーツの場として機能していくのではないかな。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

・キャンプ場の民営化も検討する必要がある。

・全ての施設に注力するのではなく、観光客の利用がある施設などに限定して、整備に力を入れることも必要。

美和・本郷



▷参加者からの意見

（集会系施設及び公民館）

- ・地元で施設を譲渡する場合、施設ごとで老朽化が違っているので、不公平感がある。
- ・集会所は、地区の中心のような場所。他の地域の人たちも興味を持って利用してくれるような機能の充実が必要。
- ・使い手のいない施設は、地域の実情に応じて廃止・解体する前に、企業に売却・活用するなど検討すべきではないか。
- ・集会所から離れた所に住んでいる人や高齢者の方々のために、交通の便を良く

する等、施設の利便性を向上するための仕組みづくりが必要。

・交流館やふれあいセンターなど、広域的な利用を想定した大規模な施設は、拠点施設として存続させ、施設維持費が掛かるので行政が維持してほしい。

（スポーツ施設）

・似たような施設なのに、施設ごとで利用料金が異なる不公平感を解消すべき。

・本郷の柔剣道場は、ニーズもないが、取り壊した後の跡地利用はどうするのか。

（キャンプ場その他レクリエーション・観光施設）

・ハイエンドインバウンドの考え方。来訪者が普段体験しないような観光資源を提供し、満足してもらう。

・らんかん高原は、眺望の良さといった魅力がある。らんかん高原の自然を生かした活用方法で、利用客を増やす取組が必要。

3. 全体発表会について

市役所本庁舎において開催した住民意見交換会の最終日となる全体発表会では、市長も参加し、各地域の代表者から、各地域で出された意見を発表していただきました。

これらの意見に対する、市長のコメントのほか、各地域の会場をウェブで繋ぎ、発表者以外の地域の参加者を交え、市長との意見交換を行いました。



・市長のコメント

集会系施設及び公民館

- ・集会系施設の情報発信の在り方については、市ホームページや市公式LINEといった既存の情報発信のツールを活用しつつ、市民の方々が、どういった情報を必要としているかを踏まえて、今後検討が必要だと考えている。
- ・受益者負担の見直しについては、集会系施設の在り方を決めていく中で、市民の公平性や受益者負担の考えを基に、検討していかなければならないと考えている。
- ・今後の集会系施設の在り方については、幅広く、誰もが使えるような多様な場として活用することで、地域の活性化につながるよう取り組んでいく必要があると考えている。そのためには、今回いただいた意見をはじめ、様々な活用方法についての意見を参考にしていきたい。
- ・施設の譲渡については、必要な修繕・解体について行政としての支援ができるように検討していきたい。
- ・集会系施設の中には、避難所機能を備えている施設もあることから、今後の施設の在り方については、避難所の在り方とともに考えていかなければならないと認識している。
- ・今後、拠点となる集会系施設が、移動手段がないから使えないということにならないよう、公共交通の再編と同時に検討していかなければならないと考えている。
- ・地域ごとに歴史や文化といった背景が異なる。これらを加味しながら、今回いただいた意見を参考にしつつ、集会系施設の在り方について検討していきたい。

スポーツ施設

- ・指定管理者に対しては、利用者アンケートを原則義務付けるとともに、市が求める内容のとおり業務が履行されているか評価を行っている。今後も、これらの取組を続ける中で、利用者の意見・要望を聞くとともに、市民の満足度や意見を把握しながら、施設の改善につなげていかなければならないと考えている。
- ・市町村合併した意味を振り返るべきだという意見をいただいた。合併を経て、市内に類似した機能等を有する施設がたくさんあることから、それぞれの施設の利用状況を精査し、実態に応じた機能の充実を図るといった観点も必要であると考えている。
- ・今あるスポーツ施設を活用し、未来のある岩国の子供たちがいろいろな競技に触れ、更に高みを目指す。また、スポーツを含めた交流人口の拡大を図るため、大会の開催・誘致が行えるように取り組んでいくことができればと考えている。
- ・高齢者にとっては、スポーツ施設を生涯スポーツの場や健康づくりとしての場として使っているという意見も多かったと認識している。高齢化が進む中でフレイル予防など健康維持のために、施設を利用している方々もいると思うが、「健康」は、岩国市のまちづくりの大きなテーマとして考えている。スポーツを行う方々の年齢、体力、レベルに合わせて、地域ごとにスポーツ・健康づくりを担えるようにしていく必要があると考えている。そのためにも、学校やプール等を集約しながら、あるいは機能を加えながら、利用者が利用しやすいような運営方法について意見をいただき、更なる施設の改善をしていかなければならないと考えている。

キャンプ場その他レクリエーション・観光施設

・施設の周知不足という課題については、たくさんの意見をいただいたところである。テレビやインターネット、SNSなどを活用することはもちろん、岩国市の魅力をどう発信するか、どうやって有益な情報を提供するかということについては、シティプロモーションという観点からも考えていかなければならない。まずは、想定するターゲットを明確にして、情報発信の充実を図っていかねばならないと考えている。

・施設については、古い施設を近隣施設と統廃合したり、施設同士でタイアップしてはどうかという意見をいただいたところである。施設の更新に当たっては、観光施設の全体的な状況を見極めることが必要であり、まずは施設の利用状況を精査して、使っていない又は利用のない施設は集約化や廃止も検討する必要があると考えている。

・民間活力を導入したらどうかという意見について、キャンプ場等には、民間のノウハウを積極的に導入していくことも必要と考えている。民間活力を導入し、様々なアイデアをいただき活用していくことについては、躊躇なく取り組んでいきたい。

・県外のキャンプ場等を視察する中で、その運用に当たり、地域でのトラブルがあったということも聞いている。観光施設の活用を図る中で、地域の受入れや地域への還元についての意見もあったが、民間企業等、専門知識を持つ方々の意見を参考にしながら、地域との連携や地域にもたらす効果などについて考えていかなければならない。

・観光施設・キャンプ場については、市民だけでなく市外からの来訪者の意見や、交流人口を見込んだ議論も必要である。市としては、既存施設の利用状況等を精査し、情報発信の在り方なども含め、キャンプ場をはじめとする観光施設の在り方について再検討していきたいと考えている。